

## 基本計画書

基本計画											
事項	記入欄							備考			
計画の区分	大学院の研究科の廃止										
フリガナ設置者	ガッコウホウジン メイジョウダイガク 学校法人 名城大学										
フリガナ大学の名称	メイジョウダイガクダイガクイン 名城大学大学院 (Meijo University Graduate Schools)										
大学本部の位置	愛知県名古屋市中区天白区塩釜口一丁目501番地										
大学の目的	本大学院は、教育基本法及び学校教育法の規定するところに従い、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、もって文化の進展に寄与することを目的とする。										
新設学部等の目的	法務研究科は平成22年度から定員未充足が続いており、将来に亘る教育研究の継続は困難であると判断し、平成29年度から学生募集を停止している。令和2年3月をもって、在籍者がいなくなったため当該研究科を廃止する。										
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地			
	法務研究科 【Law School】 法務専攻 【Division of Legal Practice】	3年	— (25)	— 年次人	— (90)	法務博士 (専門職)	平成29年4月 第1年次 (学生募集停止)	愛知県名古屋市中区天白区 塩釜口一丁目501番地			
	計	— (25)	—	— (90)							
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	別添資料に記載。										
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数					
		講義	演習	実験・実習	計	単位					
		科目	科目	科目	科目						
教員組織の概要	学部等の名称			専任教員等					兼任教員等		
				教授	准教授	講師	助教	計	助手		
	新設分	法務研究科 法務専攻（専門職学位課程）			— (0)	— (0)	— (0)	— (0)	— (0)	— (0)	
		計			— (0)	— (0)	— (0)	— (0)	— (0)	— (—)	
	既設	法学研究科 法学専攻（修士課程）			— (25)	— (13)	— (0)	— (0)	— (38)	— (0)	— (6)
		法学専攻（博士後期課程）			— (17)	— (0)	— (0)	— (0)	— (17)	— (0)	— (0)
		経営学研究科 経営学専攻（修士課程）			— (15)	— (5)	— (0)	— (0)	— (20)	— (0)	— (2)
		経営学専攻（博士後期課程）			— (15)	— (0)	— (0)	— (0)	— (15)	— (0)	— (0)
		経済学研究科 経済学専攻（修士課程）			— (16)	— (9)	— (0)	— (0)	— (25)	— (0)	— (0)
		経済学専攻（博士後期課程）			— (10)	— (0)	— (0)	— (0)	— (10)	— (0)	— (0)
	概要	理工学研究科（修士（博士前期）課程）			— (5)	— (0)	— (0)	— (0)	— (5)	— (0)	— (0)
		理工学研究科（博士（博士後期）課程）			— (3)	— (0)	— (0)	— (0)	— (3)	— (0)	— (0)
		数学専攻（博士前期課程）			— (9)	— (6)	— (0)	— (1)	— (16)	— (0)	— (17)
		数学専攻（博士後期課程）			— (9)	— (0)	— (0)	— (0)	— (9)	— (0)	— (0)
要分	機械工学専攻（修士課程）			— (9)	— (0)	— (0)	— (0)	— (9)	— (0)	— (0)	
	機械工学専攻（博士後期課程）			— (22)	— (12)	— (0)	— (0)	— (34)	— (0)	— (0)	

教 員 組 織 の 概 要	既 設	情報工学専攻（修士課程）	— (9)	— (8)	— (0)	— (0)	— (17)	— (0)	— (13)	
		電気電子工学専攻（博士前期課程）	— (12)	— (5)	— (0)	— (0)	— (17)	— (0)	— (13)	
		材料機能工学専攻（修士課程）	— (9)	— (3)	— (0)	— (0)	— (12)	— (0)	— (13)	
		応用化学専攻（修士課程）	— (5)	— (4)	— (0)	— (0)	— (9)	— (0)	— (18)	
		交通機械工学専攻（修士課程）	— (6)	— (6)	— (0)	— (0)	— (12)	— (0)	— (15)	
		メカトロニクス工学専攻（修士課程）	— (5)	— (4)	— (0)	— (0)	— (9)	— (0)	— (18)	
		社会基盤デザイン工学専攻（修士課程）	— (8)	— (4)	— (0)	— (0)	— (12)	— (0)	— (13)	
		環境創造学専攻（修士課程）	— (5)	— (6)	— (0)	— (0)	— (11)	— (0)	— (14)	
		建築学専攻（修士課程）	— (10)	— (6)	— (0)	— (2)	— (18)	— (0)	— (16)	
		電気・情報・材料・物質工学専攻（博士後期課程）	— (33)	— (5)	— (0)	— (0)	— (38)	— (0)	— (0)	
		社会環境デザイン工学専攻（博士後期課程）	— (29)	— (4)	— (0)	— (0)	— (33)	— (0)	— (0)	
		農学研究科 農学専攻（修士課程）	— (20)	— (18)	— (0)	— (4)	— (42)	— (0)	— (2)	
		農学専攻（博士後期課程）	— (20)	— (0)	— (0)	— (0)	— (20)	— (0)	— (1)	
		薬学研究科 薬学専攻（博士課程）	— (27)	— (18)	— (0)	— (0)	— (45)	— (0)	— (6)	
		都市情報学研究科 都市情報学専攻（修士課程）	— (22)	— (2)	— (0)	— (0)	— (24)	— (0)	— (0)	
		都市情報学専攻（博士後期課程）	— (21)	— (2)	— (0)	— (0)	— (23)	— (0)	— (0)	
		人間学研究科 人間学専攻（修士課程）	— (13)	— (2)	— (0)	— (0)	— (15)	— (0)	— (1)	
		総合学術研究科 総合学術研究科（博士前期課程）	— (9)	— (3)	— (0)	— (1)	— (13)	— (0)	— (9)	
		総合学術研究科（博士後期課程）	— (9)	— (1)	— (0)	— (0)	— (10)	— (0)	— (4)	
		計	— (240)	— (126)	— (0)	— (8)	— (374)	— (0)	— (—)	
		合計	— (240)	— (126)	— (0)	— (8)	— (374)	— (0)	— (—)	
		教員以外の職員の概要	職 種		専 任		兼 任		計	
			事 務 職 員		— (235)		— (131)		— (366)	
			技 術 職 員		— (7)		— (4)		— (11)	
図 書 館 専 門 職 員			— (0)		— (4)		— (4)			
そ の 他 の 職 員			— (0)		— (0)		— (0)			
計			— (242)		— (139)		— (381)			
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計	
	校 舎 敷 地		— m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>	
	運 動 場 用 地		— m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>	
	小 計		— m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>	
	そ の 他		— m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>	
合 計		— m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>		— m <sup>2</sup>		
校 舎		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計		
		— m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )		— m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )		— m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )		— m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )		
教室等	講義室		演習室		実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設	
	— 室		— 室		— 室		— 室 (補助職員 人)		— 室 (補助職員 人)	

専任教員研究室		新設学部等の名称			室数				
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
		{ } { }	{ } { }	{ } { }	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )		
	計	{ } { }	{ } { }	{ } { }	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )		
図書館		面積 m <sup>2</sup>		閲覧座席数		収納可能冊数			
体育館		面積 m <sup>2</sup>		体育館以外のスポーツ施設の概要					
経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	経費の見積り								
	教員1人当り研究費等								
	共同研究費等								
	図書購入費								
	設備購入費								
学生1人当り納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要									
既設大学の状況	大学の名称	名城大学大学院							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	法学研究科								愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地
	法律学専攻								
	修士課程	2	15	—	30	修士(法学)	0.20	昭和42年度	
	博士後期課程	3	8	—	24	博士(法学)	0.12	昭和44年度	
	経営学研究科								
	経営学専攻								
	修士課程	2	20	—	40	修士(経営学)	0.25	平成13年度	
	博士後期課程	3	3	—	9	博士(経営学)	0.22	平成15年度	
	経済学研究科								
	経済学専攻								
	修士課程	2	10	—	20	修士(経済学)	0.15	平成12年度	
	博士後期課程	3	3	—	9	博士(経済学)	0.33	平成14年度	
理工学研究科									
数学専攻									
博士前期課程	2	8	—	16	修士(理学)	0.18	平成14年度		
博士後期課程	3	2	—	6	博士(理学)	0.33	平成7年度		
情報工学専攻									
修士課程	2	30	—	60	修士(工学)	0.66	平成14年度		
電気電子工学専攻									
博士前期課程	2	25	—	50	修士(工学)	1.10	平成14年度		
材料機能工学専攻									
修士課程	2	35	—	70	修士(工学)	0.84	平成14年度		
応用化学専攻									
修士課程	2	24	—	48	修士(工学)	0.49	平成29年度		

既設大学等の状況	理工学研究科											
	機械工学専攻											
	修士課程	2	30	—	60	修士（工学）	1.06	平成14年度				
	博士後期課程	3	5	—	15	博士（工学）	0.20	平成4年度				
	交通機械工学専攻											
	修士課程	2	25	—	50	修士（工学）	0.76	平成14年度				
	メカトロニクス工学専攻											
	修士課程	2	24	—	48	修士（工学）	0.76	平成29年度				
	社会基盤デザイン工学専攻											
	修士課程	2	18	—	36	修士（工学）	0.32	平成14年度				
	環境創造学専攻											
	修士課程	2	8	—	16	修士（工学）	0.62	平成14年度				
	建築学専攻											
	修士課程	2	16	—	32	修士（工学）	0.71	平成14年度				
	電気・情報・材料・物質工学専攻											
	博士後期課程	3	10	—	30	博士（工学）	0.13	平成5年度				
	社会環境デザイン工学専攻											
	博士課程	3	5	—	15	博士（工学）	0.60	平成4年度				
	農学研究科											
	農学専攻											
	修士課程	2	20	—	40	修士（農学）	1.55	昭和48年度				
	博士後期課程	3	5	—	15	博士（農学）	0.13	昭和51年度				
薬学研究科												
薬学専攻												
博士課程（4年制）	4	4	—	16	博士（薬学）	1.37	平成24年度					
都市情報学研究科												
都市情報学専攻												
修士課程	2	8	—	16	修士（都市情報学）	0.50	平成11年度					
博士後期課程	3	4	—	12	博士（都市情報学）	0.25	平成13年度					
人間学研究科												
人間学専攻												
修士課程	2	8	—	16	修士（人間学）	0.06	平成23年度					
総合学術研究科												
総合学術専攻												
博士前期課程	2	8	—	16	修士（学術）	0.06	平成14年度					
博士後期課程	3	4	—	12	博士（学術）	0.25	平成14年度					
大学の名称	名城大学											
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地				
法学部												
法学科	4	400	—	1,600	学士（法学）	1.03	平成11年度	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地				
応用実務法学科	4	—	—	—	学士（法学）	—	平成11年度	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地				

平成28年度から学生募集停止

既設大学等の状況	経営学部							1.01			
	経営学科	4	215	—	860	学士（経営学）	0.99	平成12年度			
	国際経営学科	4	95	—	380	学士（経営学）	1.06	平成12年度			
	経済学部							1.03			
	経済学科	4	210	—	840	学士（経済学）	0.99	平成12年度			
	産業社会学科	4	100	—	400	学士（経済学）	1.13	平成12年度			
	理工学部							0.99			
	数学科	4	90	—	360	学士（理学）	0.97	平成12年度			
	情報工学科	4	150	—	600	学士（工学）	1.03	平成16年度			
	電気電子工学科	4	150	—	600	学士（工学）	1.03	平成12年度			
	材料機能工学科	4	80	—	320	学士（工学）	1.05	平成12年度			
	応用化学科	4	70	—	280	学士（工学）	0.90	平成25年度			
	機械工学科	4	125	—	500	学士（工学）	0.95	平成12年度			
	交通機械工学科	4	125	—	500	学士（工学）	0.97	平成12年度			
	メカトロニクス工学科	4	80	—	320	学士（工学）	1.01	平成25年度			
	社会基盤デザイン工学科	4	90	—	360	学士（工学）	0.96	平成12年度			
	環境創造学科	4	—	—	—	学士（工学）	—	平成12年度			
	環境創造工学科	4	80	—	80	学士（工学）	0.98	令和2年度			令和2年度から学生募集停止
	建築学科	4	145	—	580	学士（工学）	0.99	平成12年度			
	農学部							1.01			
	生物資源学科	4	110	—	440	学士（農学）	1.04	平成11年度			
	応用生物化学科	4	110	—	440	学士（農学）	0.99	平成11年度			
	生物環境科学科	4	110	—	440	学士（農学）	1.00	平成17年度			
	薬学部							1.06			
	薬学科（6年制）	6	265	—	1,560	学士（薬学）	1.06	平成18年度			愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地
	都市情報学部							0.97			
	都市情報学科	4	220	—	880	学士（都市情報学）	0.97	平成7年度			
人間学部							1.05				
人間学科	4	220	—	880	学士（人間学）	1.05	平成15年度			愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9	
外国語学部							1.03				
国際英語学科	4	130	—	520	学士（外国語学）	1.03	平成28年度				
附属施設の概要	該当なし										

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校の内容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。